

地域計画

| | |
|-------------------|------------------|
| 策定年月日 | 令和7年3月28日 |
| 更新年月日 | () |
| 目標年度 | 令和16年度 |
| 市町村名 (市町村コード) | 三木市 (28215) |
| 地域名 (地域内農業集落名) | 吉川地区 (福吉) |

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| 区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域) | 14.05 ha |
| ① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 | 13.35 ha |
| ② 田の面積 | 13.0 ha |
| ③ 畑の面積(果樹、茶等を含む) | 1.05 ha |
| ④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計 | 1.24 ha |
| ⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計 | (1.24) ha |
| (参考)区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計 | 8.90 ha |
| うち後継者不在の農業者の農地面積の合計 | 1.50 ha |
| (備考) | |

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における65才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

農家戸数は14戸で、主たる農業従事者10名が地域農業を担っており、内、65歳以上が7名と高齢化が進んでいる。しかし、10年後も農業継続意向の農家が多く、何とかほぼ現状の農業が維持される見通しである。後継者については7戸で目途が立っているものの、2戸は後継予定者が農業を引き継がない意向を示され、また1戸が規模縮小を希望されている。このような状況から、一部、条件不利農地では、耕作放棄地も見られており、今後、地域農業のあり方や将来の農地利用について検討する必要がある。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・酒米「山田錦」を核に、個別完結型の形態を中心に営農を進める一方、空き農地が発生した場合は認定農業者をはじめ、規模拡大志向農家への集積を図る。
- ・水稻栽培に適さない農地(水持ちが悪い、水の確保が困難な農地など)は、高齢者の楽しみとして、野菜等の栽培、生産した農作物を農産物直売所へ出荷販売することを通じた『生きがいくりの場』としての活用を検討する。
- ・自治会活動として住民参加のもと、道路、水路、遊休農地、法面等の草刈りなどを通じ、住環境の保全に努める。
- ・老若男女問わず、地域住民の連帯感や農業への愛着をもってもらうため、地域で生産された食材を使った加工品づくりを検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

| | | | |
|--|------|---|-------------|
| (1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針 | | | |
| 農地バンクへの貸付けを進めつつ、認定農業者をはじめ規模拡大志向農家への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。 | | | |
| (2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標 | | | |
| 現状の集積率 | 17.7 | % | 将来の目標とする集積率 |
| | | | 27 % |
| (3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標 | | | |
| 現在は、個別に農地利用を行っているため、団地化は図られていない。今後、規模縮小や離農した農家の農地を認定農業者をはじめ規模拡大志向農家に集約する。団地数や団地面積は未定である。 | | | |

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

| |
|--|
| (1)農用地の集積、集団化の取組 |
| 農業委員、農地利用最適化推進員と調整し、農地バンクを通じた集積、集約化をすすめ、担い手を中心に集積、集約化を図る。 |
| (2)農地中間管理機構の活用方法 |
| 中間管理事業制度を地区農家に周知を行いながら、現在の利用権設定や規模縮小・離農に伴う権利設定は中間管理事業を活用するように誘導する。 |
| (3)基盤整備事業への取組 |
| ・老朽化したパイプラインの更新 ・機械作業や畔草管理・水管理の省力化を図るため、ほ場の大区画化を検討する。 |
| (4)多様な経営体の確保・育成の取組 |
| 福吉集落において、新規就農者等就農を希望する者がある場合は、地域の貴重な担い手として受け入れられるルールを作り、三木市や加西農業改良普及センター、JAみのりとも連携し、多様な担い手育成確保に取り組む。 |
| (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の取組 |
| 基幹作業ができなくなった農家にはJAみのりや近隣営農組合等の農業支援サービス事業体への委託を進める。 |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

| | | | | |
|---|---|---|-----------------------------------|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料 | <input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等 | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設 | <input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等 | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |

【選択した上記の取組内容】

- ①地域による鳥獣被害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや、連絡網の整備や新たな捕獲人材を募集し、地域で育成していく。
- ③水稲栽培において、ドローンによる肥料散布作業や、自動給水栓の導入など、省力化・効率化につながるスマート農業機械等の導入を検討する。
- ⑦多面的機能支払交付金等の活用により、農地、水路等の保全管理をすすめる。さらに、省力化できる機械を活用した草刈りの共同化を図り、継続的な農業生産や快適な住環境づくりを進める。
- ⑧小規模な加工施設や、機械格納庫の整備を検討する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

| 属性 | 農業を担う者 (氏名・名称) | 現状 | | | 10年後 (目標年度:令和15年度) | | | | |
|-----|-------------------|-------------|----------|--------|-----------------------|----------|--------|----------|----|
| | | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 経営作目等 | 経営面積 | 作業受託面積 | 目標地図上の表示 | 備考 |
| 利用者 | | 水稲 | 1.03 ha | ha | 水稲 | 0.03 ha | ha | 1 | |
| 利用者 | | 水稲露地野菜 | 0.73 ha | ha | 水稲露地野菜 | 0.71 ha | ha | 2 | |
| 利用者 | | 水稲露地野菜 | 1.27 ha | ha | 水稲露地野菜 | 0.05 ha | ha | 4 | |
| 利用者 | | 水稲 | 1.27 ha | ha | 水稲 | 0.18 ha | ha | 5 | |
| 利用者 | | 露地野菜 | 0.21 ha | ha | 露地野菜 | 0.21 ha | ha | 8 | |
| 利用者 | | 水稲大豆露地野菜果樹 | 1.88 ha | ha | 水稲大豆露地野菜果樹 | 0.00 ha | ha | - | |
| 利用者 | | 露地野菜 | 0.01 ha | ha | 露地野菜 | 0.01 ha | ha | 11 | |
| 認農 | | 水稲ハウス野菜果樹 | 2.49 ha | ha | 水稲ハウス野菜果樹 | 2.48 ha | ha | 13 | |
| 利用者 | | 水稲・露地野菜 | 0.41 ha | ha | 水稲・露地野菜 | 0.00 ha | ha | - | |
| 利用者 | | 水稲 | 0.52 ha | ha | 水稲 | 0.00 ha | ha | - | |
| 利用者 | | 水稲 | 1.56 ha | ha | 水稲 | 0.00 ha | ha | - | |
| 利用者 | | 水稲 | 1.00 ha | ha | 水稲 | 1.41 ha | ha | 18 | |
| 利用者 | | 水稲露地野菜ハウス野菜 | 1.66 ha | ha | 水稲露地野菜ハウス野菜 | 1.66 ha | ha | 20 | |
| 利用者 | | 水稲露地野菜 | 0.00 ha | ha | 水稲露地野菜 | 1.23 ha | ha | 23 | |
| 利用者 | | 水稲 | 0.00 ha | ha | 水稲 | 1.00 ha | ha | 25 | |
| 利用者 | | 水稲大豆露地野菜果樹 | 0.00 ha | ha | 水稲大豆露地野菜果樹 | 1.83 ha | ha | 26 | |
| 利用者 | | 水稲 | 0.00 ha | ha | 水稲 | 1.50 ha | ha | 28 | |
| 利用者 | | 水稲 | 0.00 ha | ha | 水稲 | 0.52 ha | ha | 30 | |
| 計 | | | 14.05 ha | 0 ha | | 12.81 ha | 0 ha | | |

- 注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業体(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
- 2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
- 3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
- 4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
- 5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業体一覧(任意記載事項)

| 番号 | 事業体名 (氏名・名称) | 作業内容 | 対象品目 |
|----|-----------------|------------|------|
| | | 病虫害防除、乾燥調製 | 水稻 |
| | | 田植え、収穫 | 水稻 |
| | | | |
| | | | |

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

| | | | |
|-------------|--|---------------|--|
| 農用地所有者等数(人) | | うち計画同意者数(人・%) | |
|-------------|--|---------------|--|

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。